

図工室の子どもたち

KINSHI ELEMENTARY SCHOOL DIARY

3 年



「にじんで広がるものがたり」

赤・青・黄の3色を使って、いろいろな色をつくり、にじみの技法を使ってにじいろのお城を表しました。



「ためしてあそんでマグネット」

磁石の力を使って楽しく遊べるおもちゃをつくりました。鑑賞の時間は、友達のつくった作品を見てお互いのよいところを伝え合い、おもちゃで楽しむ様子が見られました。



5 年



「空想建築ラボ」

形や色のバランスを考えて、おしゃれな建物をイメージして建築しました。



「命の樹～クリムトに学ぶ～」

グスタフ・クリムトの『生命の樹』を鑑賞し、クリムトの思いを感じながら、自分の樹を描きました。





「マイアートフラワー」
長い黄ボール紙に、絵の具遊びをしたカードを使ってまぼろしの花を描きました。筆以外の用具で面白い模様がたくさんできました。



「MOKU木トーテムポール」
のこぎりを使って木材を切り、トーテムちゃんを積み上げて材料と組み合わせながら、楽しい世界を表しました。

4 年

6 年

「ココロの色・形」
自分の中にある気持ちや思いを、形や色、表し方を工夫して表しました。目には見えない心の動きを、自分なりのイメージに置き換えながら自分自身を見つめ、たくさんの感じ方や考え方に触れながら、表現の面白さを味わいました。



図工の学習は、単に「絵をかく」「ものをつくる」だけの時間ではありません。児童は、自分の思いや考えを形や色で表現することで自分自身と向き合い、友達と活動を共有することで他者の感じ方や考え方を知る機会にもなっています。また、正解のない世界だからこそ自分で考えて決める力や試行錯誤しながら表現を深める力も育まれます。「こんなふうにかけたよ!」「こうやって工夫してみたよ、どうかな?」そんな言葉の中に、成長がたくさん詰まっています。ぜひその制作過程や思いに目を向けていただけたらと思います。

図工という教科を通して、表現する喜びや、自分らしさに気付く時間を大切にしていきたいと考えています。これからも、お子様の創造の世界を温かく見守っていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。